

令和3年10月～12月期
地域産業経営動向調査
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関

堺商工会議所 〕

調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数 DI 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所 800 社（建設業 200 社・製造業 200 社・卸売業 100 社・小売業 100 社・サービス業 200 社）
3. 調査期間 令和 3 年 12 月 10 日（金）～24 日（金）

| 4. 回収率 | 調査対象数 | 回収数 | 回収率 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| | 建設業 | 200 社 | 100 社 | 50.0% |
| | 製造業 | 200 社 | 103 社 | 51.5% |
| | 卸売業 | 100 社 | 50 社 | 50.0% |
| | 小売業 | 100 社 | 50 社 | 50.0% |
| | サービス業 | 200 社 | 102 社 | 51.0% |
| | 全産業 | 800 社 | 405 社 | 50.6% |

【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- DI 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

【各項目別の DI 値の意味について】

- 業況判断 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
⇒今期状況 … DI 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … DI 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
⇒今期状況 … DI 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

調査結果の概観

今期(10月～12月期)の前年同期比を見ると、業況判断DI、売上高DI、採算DI、資金繰りDIが改善、雇用人員DIが悪化となった。

来期(1月～3月期)の予測については、採算DI、雇用人員DIが改善、業況判断DIがやや改善、売上高DIがやや悪化、資金繰りDIが悪化となった。

数値の推移としては、前年同期比・来期見通し共に改善した項目が多く、前回に引き続き各DI値がコロナ禍前に近い数値を維持していることを踏まえると、市内事業所の業況は全体的に持ち直しつつあるといえる。

しかし、新型コロナウイルスの感染者数が再び急増しており、コロナ禍収束に向けた見通しは更に不透明さを増していることから、引き続き市内企業の動向については、注視していく必要がある。

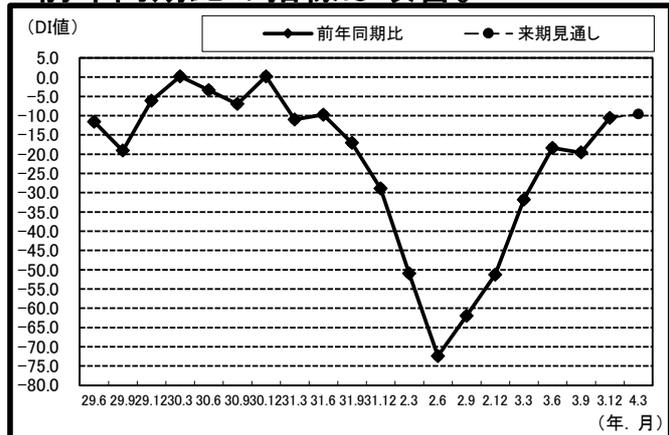
1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標は改善。
($\Delta 19.6 \Rightarrow \Delta 10.6$)

・来期見通しの指標はやや改善と予測。
($\Delta 10.6 \Rightarrow \Delta 9.6$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、サービス業は6期連続で改善。製造業、卸売業、小売業は改善、建設業は悪化。

・前年同期比の指標は改善。



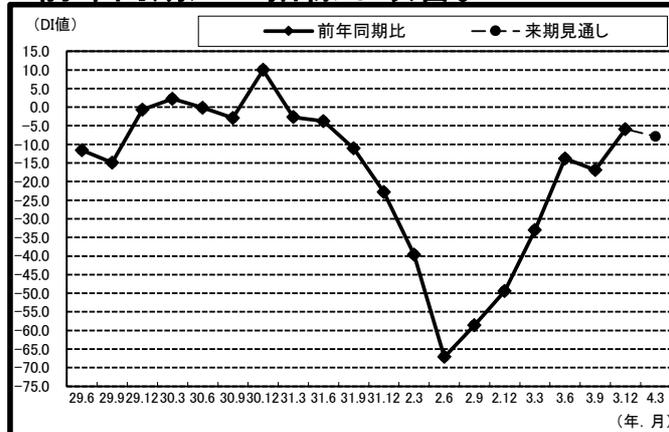
2. 売上高の動向

・前年同期比の指標は改善。
($\Delta 16.9 \Rightarrow \Delta 5.9$)

・来期見通しの指標はやや悪化と予測。
($\Delta 5.9 \Rightarrow \Delta 7.9$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、サービス業は6期連続で改善。製造業、卸売業、小売業は改善、建設業は悪化。

・前年同期比の指標は改善。



3. 採算の動向

- ・前年同期比の指標は改善。
($\Delta 18.6 \Rightarrow \Delta 9.6$)
- ・来期見通しの指標はやや改善と予測。
($\Delta 9.6 \Rightarrow \Delta 6.9$)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、
製造業、卸売業、小売業、サービス業は
改善。建設業はやや悪化。

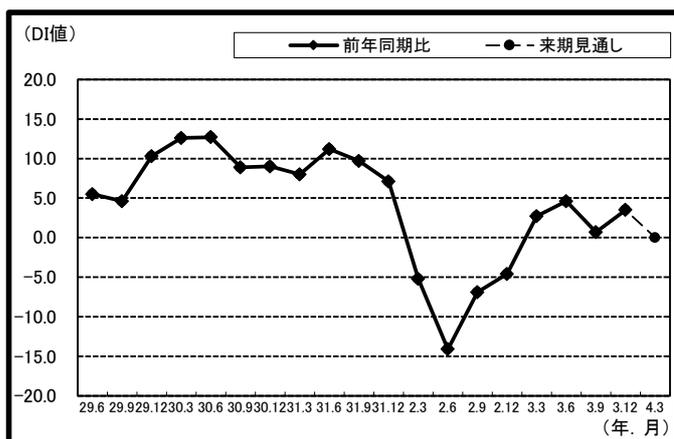
・前年同期比の指標は改善。



4. 資金繰りの動向

- ・前年同期比の指標はやや改善。
($0.7 \Rightarrow 3.5$)
- ・来期見通しの指標は悪化と予測。
($3.5 \Rightarrow 0.0$)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、
製造業は2期連続で改善、小売業は改
善。建設業はやや改善。サービス業は横
ばい。卸売業はやや悪化。

・前年同期比の指標は改善。



5. 雇用人員の動向

- ・前年同期比の指標は悪化。
($\Delta 1.7 \Rightarrow \Delta 5.9$)
- ・来期見通しの指標は改善と予測。
($\Delta 5.9 \Rightarrow 2.2$)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、
サービス業はやや改善。建設業、製造業
はやや悪化。卸売業、小売業は悪化。

・前年同期比の指標は悪化。

